

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

現職市議が討論会に出席

「現職議員が語る公開討論会」(町田青年会議所)11 月 12 日に開催され、町田市議会全会派の議員が各々 1 名並び、保守連合は私が出演しました。コーディネーの峽合宗隆氏は、地元玉川学園の教諭で、18 歳選挙権導入に関して、教育現場で先進的な中高生への主権者教育を進めるトップの人材であり、この進行役では最適の人物でした。

まず、こうした企画をよく青年会議所が健闘し、実施してくれたものだと思います。政治家の討論となると国会議員がもっぱら主役ですが、市政の討論では市議会議員が登場するべきであり、複数会派の代表が登場して主張を述べ、会場から質問を受け、各議員が議論をすると言うやり方が本来のものでしょう。真に、適正な企画でした。参加した市議会議員も真摯に対応したと思っています。



同じ会派の白川哲也市議が撮影提供

テーマでは、「待機児童」問題に言及し、今の課題は「施設建設」より「保育士」の充足が課題となっていると指摘し、その待遇改善が、横浜や区部に後れを取っている現状の改善が急務と唱えました。

福島原発地区の空中放射線量を現地で測定

福島県内浜通を訪れました。この地域は、東日本大震災で起きた福島第一原発爆発事故に伴う放射性物質の飛散で土壌・樹木などが高濃度に汚染した地帯です。たどった主たる道筋は、放射能雲による汚染が起きた飯館村から、国道 6 号を南下し、浪江町・双葉町・大熊町・富岡町・楡葉町・広野町を通り、常磐道を通って、南相馬市に至り、そこで宿泊しました。その中で特に、帰宅困難区域である浪江町・双葉町・大熊町で大線量エリアが連続していました。通行が認められている国道 6 号線(他に、常磐高速道も通行可)は、人とバイクの通行は不可。車両は窓を開けずに走行する指示でした。私は、空中放射線量の測定を行うために途中何度も車から降りました。そのたびに、町田市内で測定する 50 倍～100 倍の数値が出ていました。爆発事故からすでに 4 年半が過ぎています。計測した数値からみる限り、このエリアの復旧はとても難しいと思わざるをえませんでした。

浪江町～双葉町

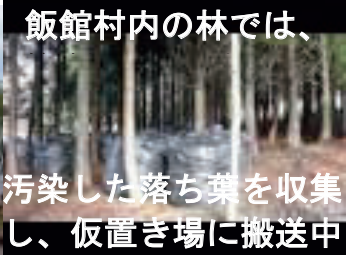
双葉町～大熊町



5.56 μSv/h



6.53 μSv/h



飯館村内の林では、汚染した落ち葉を収集し、仮置き場に搬送中

★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ(市議会議員)

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート⑩ 稲葉千岬

今回のインターンシップは一日、本会議の傍聴となりました。私は本会議の傍聴は今回が初めてなのですが、一番に感じたのは、とても長い時間かけて会議を行う、ということです。

私は本会議といっても三時間くらいで終わるだろうとタカをくくっていたのですが、実際は午前十時から始まり、終わったのは約午後六時でした。一日目の今日は七人の質疑応答が行われ、一人の持ち時間は一時間となっており、これが五日間続きます。ほとんどの議員が一時間目いっぱいを使って質疑をしていました。議員は自分が予め用意してあった表題についての行政側の回答が納得出来ないものならば、どんどん掘り下げて具体的に質問をしていました。質疑の内容は私にとっては高度で全て理解できるものではありませんでしたが、ここで感じたことは、議員・市職員の両者ともとても熱心であるということです。皆さんどのようしたら暮らしやすい街になるか、ということを生懸命考え、それに向けての行動をするために会議をしている、という想いが伝わって来ました。

昭和女子大 2 年生 稲葉 千岬(第 36 期)



研修レポート⑧ 石井優希

本日は、決算特別委員会を傍聴しました。それぞれの部署の事業等をまとめた「行政評価シート」を用いて質疑が行われていました。この行政評価シートは、傍聴席にも置かれていたのですが、資料として非常に分かりやすく、それぞれの事業等に関して、グラフ・図や、それを受けた分析・課題が明瞭に示されており、私でも一読ですっと内容が頭に入ると感ぜられました。

経済観光部に対して、吉田つとむ議員が駅のバスターミナルの表示の見づらさを指摘していたのが印象に残りました。JR の降り口から観光バスの発着所を探しづらい現状があるようです。私は町田市民ではないので、もしも案内の表示が見当たらなかったとしたら、慣れない土地では不安になってしまうかもしれません。最後に吉田議員は、「その（実際にバスを使う）人たちに即して考える姿勢が欠落しているのでは？」と行政側に問いかけ、質疑を締めくくりました。町田市が、「暮らしやすく」、「使いやすい」、多くの人に愛される土地となることを私も望みます。



昭和女子大学 3 年生 石井 優希(第 36 期)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)